



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年7月31日

上場会社名 テクノデータサイエンス・エンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7046 URL <http://www.tdse.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 城谷 直彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員専務 (氏名) 浦川 健 (TEL) 03-6383-3261
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	291	—	△21	—	△20	—	△15	—
2019年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△7.76	—
2019年3月期第1四半期	—	—

(注) 1. 第1四半期の業績開示については2020年3月期から行っているため、2019年3月期第1四半期の数値及び2020年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,457	1,313	1,313	1,313	90.1
2019年3月期	1,539	1,350	1,350	1,350	87.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,313百万円 2019年3月期 1,350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 現時点では2020年3月期の配当予想額は未定です。

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	663	2.9	△3	—	△3	—	△2	—	△1.33
通期	1,450	7.3	70	△64.0	70	△66.9	48	△66.7	23.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	2,200,000株	2019年3月期	2,200,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	150,000株	2019年3月期	150,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	2,050,000株	2019年3月期1Q	—株

(注) 第1四半期の業績開示については2020年3月期から行っているため、2019年3月期第1四半期の期中平均株式数（四半期累計）については、記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、設備投資の増加や雇用情勢の改善等により緩やかな回復基調で推移しているものの、米中間をはじめとした貿易摩擦、中東情勢の緊迫化などによる影響が懸念され、先行不透明感は強まってきております。

情報サービス産業においては、大企業を中心に技術革新が著しいビッグデータ、IoT、AI等を意識したIT投資への意欲が引続き強く、また業種も多岐にわたっております。

このような状況のなか、当社では蓄積された解析技術を基に、新規顧客開拓を図るとともに既存顧客の深耕による受注拡大に努めており、大手製造業向けにAI教育プログラムの案件も増えてきております。また、ChatBotや音声アシスタント等の対話サービスに自動応答機能を提供する対話型AI製品『Cognigy』の顧客企業への導入に向け、より積極的な営業展開を実施しております。

以上のとおり取組んできました結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は291,188千円となりました。損益面では、当事業年度は研究開発活動を積極的に進めることとしており一般管理費の負担が大きいこと等から、当第1四半期累計期間は、営業損失21,846千円、経常損失20,835千円、四半期純損失15,916千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ82,005千円減少し、1,457,585千円となりました。

(流動資産)

流動資産の残高は、前事業年度末と比べ89,842千円減少し、1,319,127千円となりました。これは主に現金及び預金が50,596千円、売掛金が48,031千円それぞれ減少し、前渡金が4,792千円増加したこと等によるものであります。

(固定資産)

固定資産の残高は、前事業年度末と比べ7,836千円増加し、138,458千円となりました。これは主に繰延税金資産が5,729千円増加したこと等によるものであります。

② 負債

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ45,589千円減少し、143,704千円となりました。

(流動負債)

流動負債の残高は、前事業年度末と比べ45,589千円減少し、123,704千円となりました。これは主に未払法人税等が25,402千円、未払消費税等が18,311千円、買掛金が4,070千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

固定負債の残高は、前事業年度末から変動はなく、資産除去債務の20,000千円となりました。

③ 純資産

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ36,416千円減少し、1,313,881千円となりました。

これは、配当金の支払い及び四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が36,416千円減少したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

情報サービス産業においては、国内経済の先行き不透明感の影響は想定されるものの、企業のビッグデータ、IoT、AI等のデータ活用ビジネスへの投資意欲は強く、今後も堅調に成長するものと期待しております。

当社は、成長戦略であるサブスクリプションサービス拡充に向けて、自社AI製品・モジュール『scorobo』の開発を集中的に進めております。具体的には、「scorobo for Infrastructure」を活用した「社会インフラ領域向け劣化検知ソリューション」や、「scorobo for HR-Tech」を活用した「人事領域向けソリューション『HIT (Human-Innovation Technology powered by scorobo) 』」など、第2四半期会計期間より領域別ソリューションの提供を開始しております。また当事業年度は、2018年11月より取扱いを開始しました音声自動応答を実現するコンバーシショナルAI『Cognigy』の積極的な営業展開を進めております。

なお、当第1四半期累計期間の業績は概ね計画どおりに推移しており、業績見通しにつきましては、本年5月15日公表の第2四半期（累計）及び通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,170,539	1,119,943
売掛金	187,702	139,670
仕掛品	238	1,316
貯蔵品	296	144
前渡金	30,760	35,552
前払費用	19,201	20,339
その他	231	2,160
流動資産合計	1,408,969	1,319,127
固定資産		
有形固定資産		
建物	35,300	35,300
減価償却累計額	△3,785	△5,047
建物(純額)	31,514	30,252
工具、器具及び備品	1,516	1,516
減価償却累計額	△657	△764
工具、器具及び備品(純額)	858	751
有形固定資産合計	32,372	31,003
無形固定資産		
ソフトウェア	2,099	1,962
ソフトウェア仮勘定	—	2,771
無形固定資産合計	2,099	4,733
投資その他の資産		
長期前払費用	3,085	3,500
繰延税金資産	16,923	22,652
敷金及び保証金	71,737	71,737
その他	4,404	4,831
投資その他の資産合計	96,149	102,722
固定資産合計	130,621	138,458
資産合計	1,539,591	1,457,585

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,914	8,843
未払金	14,593	12,686
未払費用	19,482	22,219
未払法人税等	29,322	3,920
未払消費税等	30,911	12,599
前受金	47,179	48,246
預り金	14,889	15,188
流動負債合計	169,293	123,704
固定負債		
資産除去債務	20,000	20,000
固定負債合計	20,000	20,000
負債合計	189,293	143,704
純資産の部		
株主資本		
資本金	833,180	833,180
資本剰余金	279,680	279,680
利益剰余金	289,937	253,521
自己株式	△52,500	△52,500
株主資本合計	1,350,297	1,313,881
純資産合計	1,350,297	1,313,881
負債純資産合計	1,539,591	1,457,585

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	291,188
売上原価	190,498
売上総利益	100,689
販売費及び一般管理費	122,535
営業損失(△)	△21,846
営業外収益	
為替差益	13
確定拠出年金返還金	806
その他	190
営業外収益合計	1,010
経常損失(△)	△20,835
税引前四半期純損失(△)	△20,835
法人税、住民税及び事業税	810
法人税等調整額	△5,729
法人税等合計	△4,919
四半期純損失(△)	△15,916

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ビッグデータ・AIソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当社は、本日(2019年7月31日)開催の取締役会において、キーウェアソリューションズ株式会社(東証二部、証券コード3799)の株式の一部を取得し筆頭株主となり、同社と資本業務提携を行うこと、並びに株式取得資金として一部資金の借入を実施することを決議いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「キーウェアソリューションズ株式会社の株式取得及び資本業務提携並びに資金の借入について」をご参照ください。